

コクサイ - MUGCTラスト -
単位型 dbX-ウィントン・
パフォーマンス連動ファンド1110(豪ドル建)

ケイマン諸島籍契約型外国投資信託 / 単位型

運用報告書
(全体版)

作成対象期間
第 5 期

(自 2015年11月 1 日)
(至 2016年10月31日)

管理会社

ルクセンブルク三菱UFJインベスターサービス銀行S.A.

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、コクサイーMUGCトラストー単位型dbX-ウィントン・パフォーマンス連動ファンド1110(豪ドル建)(以下「サブ・ファンド」といいます。)は、このたび、第5期の決算を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

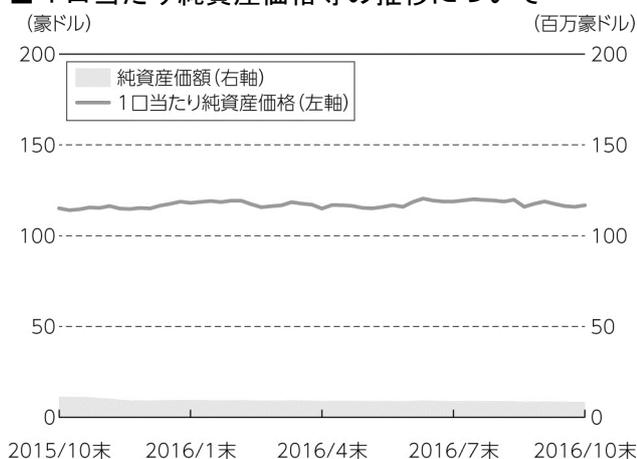
サブ・ファンドの仕組みは、以下のとおりです。

ファンド形態	ケイマン諸島籍契約型外国投資信託／単位型
信託期間	サブ・ファンドは、早期に終了される場合を除いて、また、管理会社が受託会社と協議の上管理会社の裁量により、もしくは受託会社および管理会社の同意の上、サブ・ファンド受益者の決議により、またはその他信託証書の定めによりその存続期間を延長する場合を除いて、償還日(2018年10月31日)に終了します。
運用方針	サブ・ファンドの投資目的は、2018年10月9日(以下「本債券満期日」といいます。)において発行価格の104.2%を確保しつつ、受益者に対して、参照指数であるボラティリティ・コントロール指数(以下「参照指数」といいます。) ^(注) のパフォーマンスに連動するリターンを提供することにより、サブ・ファンドの資産の中長期的成長を目指すことです。 (注)参照指数は、ボラティリティ調整の仕組みを有しつつ、ウィントン・キャピタル・マネジメント・リミテッド(Winton Capital Management Limited)(以下「ウィントン社」といいます。)が投資助言会社を務めるdbX-CTA5ファンド(以下「原ファンド」といいます。)のパフォーマンスを反映して価格が決定される想定上の口座です。
主要投資対象	ドイチェ・バンク・ルクセンブルグ・エス・エイ(以下「本債券発行会社」といいます。)により発行される信託債券(以下「パフォーマンス・リンク債」といいます。)
サブ・ファンドの運用方法	サブ・ファンドは、投資目的を達成するために、その資産の実質的にすべてをパフォーマンス・リンク債に投資します。
主な投資制限	① 空売りされる証券の総額は、サブ・ファンドの純資産価額を超えてはなりません。 ② 原則として、残存借入総額がサブ・ファンドの純資産価額の10%を超える場合、借入れは禁止されます。 ③ 原則として、サブ・ファンドは、私募証券、非上場証券または不動産等の直ちに換金できない流動性に欠ける資産にサブ・ファンドの純資産価額の15%を超えて投資を行いません。 ④ 投資対象の購入、投資および追加の結果、サブ・ファンドの資産額の50%を超えて、金融商品取引法第2条第1項に規定される「有価証券」の定義に該当しない資産を構成する場合、かかる投資対象の購入、投資および追加を行いません。
分配方針	サブ・ファンドについて、分配は行われません。

I. 運用の経過等

(1) 当期の運用の経過および今後の運用方針

■ 1口当たり純資産価格等の推移について



第4期末の1口当たり純資産価格：	115.08豪ドル
第5期末の1口当たり純資産価格：	116.71豪ドル
第5期中の1口当たり分配金合計額：	該当事項はありません。
騰落率：	1.42%

(注1) 1口当たり純資産価格は、財務書類における数値を記載しており、取引日（評価日）付で公表されている1口当たり純資産価格の数値と一致しない場合があります。

(注2) 騰落率は、1口当たり純資産価格に基づき計算しています。

(注3) サブ・ファンドは分配を行わない方針であるため、課税前分配金再投資換算1口当たり純資産価格を記載していません。以下同じです。

(注4) サブ・ファンドの購入価額により課税条件は異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注5) サブ・ファンドにベンチマークは設定されていません。

■ 1口当たり純資産価格の主な変動要因

原ファンドにおいては、米ドルの下落や世界的な金利低下などから通貨セクターや債券セクターなどがプラスに寄与しました。一方、株式指数セクターや貴金属セクターなどはマイナスに作用しました。

■ 分配金について

該当事項はありません。

■ 投資環境について

世界経済に対する懸念などを背景に、世界の株式市場は期初から2016年2月にかけて下落しました。その後、英国の欧州連合（EU）離脱を問う国民投票の結果を受けて一時的に下落する局面などもあったものの、中国経済に対する懸念の後退や原油価格の上昇などから世界の株式市場は回復しました。

債券市場では、当期の前半は日本のマイナス金利導入や欧州中央銀行の追加金融緩和政策などを受けて先進国の長期金利は低下しました。2016年7月以降は、米連邦準備制度理事会による利上げ予想などから、米国の長期金利がやや上昇しました。

原油市場は、2016年2月にかけて下落しましたが、その後、需給関係の改善期待などを受けて上昇しました。

円は、対米国ドル、対豪ドルともに上昇しました。

■ポートフォリオについて

サブ・ファンドでは、当期において、本債券発行会社により発行されるパフォーマンス・リンク債への組入れを高位に保ちました。本債券満期日において豪ドル建発行価格の104.2%を確保しつつ、ウィントン社が投資助言する原ファンドのリターンを反映した収益の確保を目指しました。原ファンドに関しては、ウィントン社の旗艦ファンドであるウィントン・フューチャーズ・ファンドと同様の運用プログラムに基づくウィントン社の投資助言に従って運用されています。

■投資の対象とする有価証券の主な銘柄

当期末現在における投資有価証券の主な銘柄については、後記「IV. ファンドの経理状況 (3) 投資有価証券明細表等」をご参照ください。

■今後の運用方針

引き続き、パフォーマンス・リンク債を通じて、満期日において豪ドル建発行価格の104.2%を確保しつつ、原ファンドのリターンを反映した収益の確保を目指します。原ファンドの主な投資目的は、特定の市場動向に依存することなく、幅広く分散されたトレーディング・スキームを追求することによって、複合的な純資産の成長を目指すものです。

(2) 費用の明細

項目	項目の概要	
管理報酬 (副管理報酬を含みます。)	発行済受益証券の発行価格の総額の年率0.04%	信託証書に定める管理会社としての業務の対価として、管理会社に支払われます。
投資顧問報酬	発行済受益証券の発行価格の総額の年率0.14%	投資顧問契約に基づく投資顧問業務の対価として、投資顧問会社に支払われます。
受託報酬	発行済受益証券の発行価格の総額の年率0.01% (最低年間10,000米ドル)	信託証書に基づく受託業務の対価として、受託会社に支払われます。
管理事務代行報酬	発行済受益証券の発行価格の総額の年率0.06%	管理事務代行契約に基づく管理事務代行業務の対価として、管理事務代行会社に支払われます。
保管報酬	合意済の取引手数料の支払、適切な裏付けのある立替費用の払戻しを受けます。	保管契約に基づくファンド資産の保管業務の対価として、保管会社に支払われます。
販売報酬	発行済受益証券の発行価格の総額の年率0.35%	投資者からの申込みまたは買戻請求を管理会社に取り次ぐ等の業務の対価として、日本における販売会社に支払われます。
代行協会員報酬	発行済受益証券の発行価格の総額の年率0.10%	受益証券1口当たり純資産価格の公表を行い、また受益証券に関する目論見書、決算報告書その他の書類を日本における販売会社に送付する等の業務の対価として、代行協会員に支払われます。
その他の費用 (当期)	0.30%	サブ・ファンドの設立および終了の費用、投資関連費用、運営費用(弁護士に支払う開示書類の作成・届出業務等に係る報酬および監査人等に支払う監査に係る報酬等)、およびその他すべての管理事務費用として支払われます。

(注1) 各報酬については、有価証券報告書に定められている料率または金額を記載しています。「その他の費用(当期)」には運用状況等により変動するものや実費となる費用が含まれます。便宜上、当期のその他の費用の金額をサブ・ファンドの当期末の純資産価額で除して100を乗じた比率を表示していますが、実際の比率とは異なります。

(注2) 各項目の費用は、サブ・ファンドが組み入れているパフォーマンス・リンク債の費用を含みません。

Ⅱ. 直近10期の運用実績

(1) 純資産の推移

下記の各会計年度末および第5会計年度中における各月末の純資産の推移は、以下のとおりです。

	純資産価額		1口当たり純資産価格	
	豪ドル	円	豪ドル	円
第1会計年度末 (平成24年10月末日)	61,387,006.12	5,301,995,719	93.55	8,080
第2会計年度末 (平成25年10月末日)	22,559,638.06	1,948,475,939	98.99	8,550
第3会計年度末 (平成26年10月末日)	13,944,931.06	1,204,423,696	108.02	9,330
第4会計年度末 (平成27年10月末日)	11,335,071.42	979,010,119	115.08	9,939
第5会計年度末 (平成28年10月末日)	8,496,381.15	733,832,440	116.71	10,080
平成27年11月末日	10,481,162.47	905,258,003	115.30	9,958
12月末日	9,213,351.83	795,757,198	115.02	9,934
平成28年1月末日	9,456,250.70	816,736,373	118.06	10,197
2月末日	9,398,625.11	811,759,251	119.27	10,301
3月末日	9,139,386.81	789,368,839	116.72	10,081
4月末日	8,897,491.55	768,476,345	114.95	9,928
5月末日	8,906,319.99	769,238,858	115.07	9,939
6月末日	9,026,039.05	779,578,993	118.61	10,244
7月末日	8,828,967.36	762,557,911	118.83	10,263
8月末日	8,779,463.86	758,282,294	118.80	10,261
9月末日	8,713,160.83	752,555,701	118.87	10,267
10月末日	8,496,381.15	733,832,440	116.71	10,080

(注1) サブ・ファンドの純資産価額および1口当たり純資産価格は取引日(評価日)に計算されます。したがって、上記の数値は、取引日(評価日)ベースの数値です。ただし、上記の各会計年度末の「純資産価額」および「1口当たり純資産価格」の数値は、財務書類の数値を記載しており、公表されている純資産価額および1口当たり純資産価格の数値と異なる場合があります。

(注2) オーストラリア・ドル(以下「豪ドル」といいます。)の円貨換算は、便宜上、平成29年2月28日現在の株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信売買相場の仲値(1豪ドル=86.37円)によります。以下、豪ドルの円貨表示は別段の記載がない限りこれによるものとします。

(2) 分配の推移

該当事項はありません。

(3) 販売および買戻しの実績

下記の各会計年度における受益証券の販売および買戻しの実績ならびに各会計年度末日現在の受益証券の発行済口数は、以下のとおりです。

	販売口数	買戻口数	発行済口数
第1会計年度	1,024,100 (1,024,100)	367,900 (367,900)	656,200 (656,200)
第2会計年度	0 (0)	428,300 (428,300)	227,900 (227,900)
第3会計年度	0 (0)	98,800 (98,800)	129,100 (129,100)
第4会計年度	0 (0)	30,600 (30,600)	98,500 (98,500)
第5会計年度	0 (0)	25,700 (25,700)	72,800 (72,800)

(注1) () の数は本邦における販売・買戻しおよび発行済口数です。

(注2) 第1会計年度の販売口数は、当初申込期間中に販売された販売口数を含みます。

Ⅲ. 純資産額計算書

(平成28年10月末日現在)

I 資産総額	8,608,645.00豪ドル	743,528,669円
II 負債総額	112,263.85豪ドル	9,696,229円
III 純資産総額 (I - II)	8,496,381.15豪ドル	733,832,440円
IV 発行済口数	72,800 口	
V 1口当たり純資産価格 (III / IV)	116.71豪ドル	10,080円

(注) 上記の表における各数値は、サブ・ファンドの財務書類に記載された数値であり、本書中の他の部分において記載されている数値またはその合計値と一致しない場合があります。詳細は、後記「IV. ファンドの経理状況 (2) 損益計算書 財務書類に対する注記」をご参照ください。

IV. ファンドの経理状況

- a. サブ・ファンドの最近会計年度の日本文の財務書類は、ルクセンブルグにおいて一般に認められた会計原則に準拠して作成された原文（英語）の財務書類を翻訳したものである（ただし、円換算部分を除く。）。これは「特定有価証券の内容等の開示に関する内閣府令」（平成5年大蔵省令第22号。その後の改正を含む。）に基づき、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号。その後の改正を含む。）第131条第5項ただし書の規定の適用によるものである。
- b. サブ・ファンドの原文の財務書類は、外国監査法人等（公認会計士法（昭和23年法律第103号。その後の改正を含む。）第1条の3第7項に規定する外国監査法人等をいう。）であるケーピーエムジー ケイマン諸島から監査証明に相当すると認められる証明を受けており、当該監査証明に相当すると認められる証明に係る監査報告書に相当するもの（訳文を含む。）が当該財務書類に添付されている。
- c. サブ・ファンドの原文の財務書類は、豪ドルで表示されている。日本文の財務書類には、主要な金額について円換算額が併記されている。日本円への換算には、平成29年2月28日現在における株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信売買相場の仲値（1豪ドル=86.37円）を使用して換算された円換算額が併記されている。なお、千円未満の金額は四捨五入されている。

独立監査人の監査報告書

受託会社御中

我々は、添付のкокサイ — MUGCトラスのサブ・ファンドであるdbX-ウィントン・パフォーマンス連動オープンおよび単位型dbX-ウィントン・パフォーマンス連動ファンド1110（豪ドル建）（以下、総称して「サブ・ファンド」という。）の財務書類、すなわち、2016年10月31日現在の純資産計算書、同日に終了した年度における運用計算書および純資産変動計算書、ならびに重要な会計方針の概要およびその他の説明情報からなる注記の監査を行った。

財務書類に関する経営陣の責任

経営陣は、投資信託に適用あるルクセンブルグにおいて一般に認められた会計原則に準拠した当財務書類の作成および公正な表示、ならびに不正によるか誤謬によるかを問わず、重大な虚偽記載のない財務書類の作成を可能にするために必要であると経営陣が判断する内部統制について責任を負っている。

監査人の責任

我々の責任は、我々の監査に基づいて当財務書類について意見を表明することである。我々は、国際監査基準に準拠して監査を行った。当該基準は、財務書類に重要な虚偽記載がないかどうかについての合理的な保証を得るために、我々が倫理規定に従い、監査を計画し実施することを求めている。

監査は、財務書類上の金額および開示内容に関する監査証拠を得るための手続の実施を含んでいる。不正によるか誤謬によるかを問わず、財務書類の重大な虚偽記載のリスク評価を含む、選択された手続は我々の判断に依拠する。これらのリスク評価を行うにあたり、我々は、サブ・ファンドによる財務書類の作成および公正な表示に関する内部統制を考慮に入れるが、これは状況に照らして適切である監査手続を策定するためであって、サブ・ファンドの内部統制の有効性についての意見を表明することが目的ではない。監査は、経営陣が採用した会計方針の適切性および行われた会計上の見積りの合理性についての評価も含め、全体としての財務書類の表示を検討することを含んでいる。

我々は、我々が入手した監査証拠が、我々の監査意見表明のための基礎を得るのに十分かつ適切であると判断している。

意見

我々の意見では、当財務書類は、投資信託に適用あるルクセンブルグにおいて一般に認められた会計原則に準拠して、サブ・ファンドの2016年10月31日現在の財政状態ならびに同日に終了した年度における財務成績および純資産の変動を、すべての重要な点において公正に表示しているものと認める。

ケーピーエムジー

ケイマン諸島

2017年3月24日



KPMG
P.O. Box 493
Century Yard, Cricket Square
Grand Cayman KY1-1106
Cayman Islands
Telephone +1 345 949 4800
Fax +1 345 949 7164
Internet www.kpmg.ky

Independent Auditors' Report to the Trustee

We have audited the accompanying financial statements of Performance of DBX - Winton Linked Open and Performance of DBX - Winton Linked Fund, Unit type 1110 (AUD), (collectively the "Sub-trusts") sub-trusts of Kokusai - MUGC Trust, which comprise the statement of net assets and the statement of investments and other net assets as at October 31, 2016, the statements of operations and changes in net assets for the year then ended and notes, comprising a summary of significant accounting policies and other explanatory information.

Management's Responsibility for the Financial Statements

Management is responsible for the preparation and fair presentation of these financial statements in accordance with generally accepted accounting principles in Luxembourg applicable to investment funds, and for such internal control as management determines is necessary to enable the preparation of financial statements that are free from material misstatement, whether due to fraud or error.

Auditors' Responsibility

Our responsibility is to express an opinion on these financial statements based on our audit. We conducted our audit in accordance with International Standards on Auditing. Those standards require that we comply with ethical requirements and plan and perform the audit to obtain reasonable assurance about whether the financial statements are free from material misstatement.

An audit involves performing procedures to obtain audit evidence about the amounts and disclosures in the financial statements. The procedures selected depend on our judgment, including the assessment of the risks of material misstatement of the financial statements, whether due to fraud or error. In making those risk assessments, we consider internal control relevant to the Sub-trust's preparation and fair presentation of the financial statements in order to design audit procedures that are appropriate in the circumstances, but not for the purpose of expressing an opinion on the effectiveness of the Sub-trust's internal control. An audit also includes evaluating the appropriateness of accounting policies used and the reasonableness of accounting estimates made by management, as well as evaluating the overall presentation of the financial statements.

We believe that the audit evidence we have obtained is sufficient and appropriate to provide a basis for our audit opinion.

Opinion

In our opinion, the financial statements present fairly, in all material respects, the financial position of the Sub-trusts as at October 31, 2016, and of its financial performance and changes in its net assets for the year then ended in accordance with generally accepted accounting principles in Luxembourg applicable to investment funds.

KPMG

March 24, 2017

(1) 貸借対照表

コクサイーMUGCトラストー
 単位型 db X-ウィントン・パフォーマンス連動ファンド1110 (豪ドル建)
 純資産計算書
 2016年10月31日現在
 (豪ドルで表示)

	豪ドル	千円
資産		
投資有価証券、取得原価	7,240,688.00	625,378
未実現評価利益	1,309,672.00	113,116
投資有価証券、公正価額	8,550,360.00	738,495
銀行預金	—	—
未収利息	—	—
投資有価証券売却未収金	58,285.00	5,034
為替予約契約にかかる未実現評価利益 (注13)	—	—
スワップにかかる未実現評価利益 (注14)	—	—
	8,608,645.00	743,529
負債		
未払費用 (注4)	(51,781.92)	(4,472)
銀行当座借越	(2,536.93)	(219)
未払利子	—	—
受益証券買戻未払金	(57,945.00)	(5,005)
スワップにかかる未実現損失 (注14)	—	—
	(112,263.85)	(9,696)
純資産合計	8,496,381.15	733,832
発行済受益証券口数 (注2)	72,800口	
受益証券1口当たり純資産価格	116.71	10,080円

添付の注記は、本財務書類と不可分のものである。

(2) 損益計算書

コクサイーMUGCトラストー
単位型 db X-ウィントン・パフォーマンス連動ファンド1110 (豪ドル建)
運用計算書
2016年10月31日に終了した年度
(豪ドルで表示)

	豪ドル	千円
収益		
預金利息	31.70	3
債券利息	61,727.55	5,331
	61,759.25	5,334
費用		
管理事務代行報酬および保管報酬 (注9)	(4,714.95)	(407)
代行協会員報酬 (注11)	(10,237.24)	(884)
設立費用償却 (注3)	—	—
販売報酬 (注10)	(27,502.80)	(2,375)
投資顧問報酬 (注7)	(11,001.13)	(950)
管理報酬 (注6)	(1,572.12)	(136)
その他の費用	(4,444.79)	(384)
専門家報酬	(18,442.00)	(1,593)
副管理報酬 (注12)	(1,572.12)	(136)
副保管報酬	(2,289.13)	(198)
受託報酬 (注8)	(8,530.42)	(737)
	(90,306.70)	(7,800)
投資純損失	(28,547.45)	(2,466)
スワップにかかる受取利息	—	—
投資有価証券の売却にかかる実現純利益 (注16)	439,480.00	37,958
為替予約契約にかかる実現純利益 (注16)	64.24	6
その他の資産および負債の為替換算にかかる未実現純損益	(0.23)	(0)
当期実現純利益	439,544.01	37,963
以下にかかる未実現純評価損益の変動：		
投資有価証券 (注16)	267,313.00	23,088
為替予約契約 (注16)	51.83	4
その他の資産および負債の為替換算	—	—
スワップ (注16)	—	—
	267,364.83	23,092
運用による純資産の純増加	143,631.73	12,405

添付の注記は、本財務書類と不可分のものである。

コクサイーMUGCトラストー
単位型 d b Xーウィントン・パフォーマンス連動ファンド1110 (豪ドル建)
純資産変動計算書
 2016年10月31日に終了した年度
 (豪ドルで表示)

	豪ドル	千円
期首現在純資産	11,335,071.42	979,010
投資純損失	(28,547.45)	(2,466)
投資有価証券の売却にかかる実現純利益 (注16)	439,480.00	37,958
為替予約契約にかかる実現純利益 (注16)	64.24	6
その他の資産および負債の為替換算にかかる実現純損失	(0.23)	(0)
	439,544.01	37,963
以下にかかる未実現純評価損失の変動:		
投資有価証券 (注16)	(267,313.00)	(23,088)
為替予約契約 (注16)	(51.83)	(4)
	(267,364.83)	(23,092)
買戻し	(2,982,322.00)	(257,583)
	(2,982,322.00)	(257,583)
期末現在純資産	8,496,381.15	733,832

添付の注記は、本財務書類と不可分のものである。

コクサイーMUGCトラストー
単位型 db Xーウィントン・パフォーマンス連動ファンド1110 (豪ドル建)
受益証券口数の変動

2016年10月31日に終了した年度
口

期首現在発行済受益証券口数	98,500
発行受益証券口数	—
買戻受益証券口数	(25,700)
期末現在受益証券口数	72,800

コクサイーMUGCトラストー
単位型 db Xーウィントン・パフォーマンス連動ファンド1110 (豪ドル建)
統計情報

	2016年10月31日に終了した年度		2015年10月31日に終了した年度	
期末現在1口当たり純資産価格 (豪ドルで表示)	116.71 豪ドル	10,080 円	115.08 豪ドル	9,939 円
純資産価額 (豪ドルで表示)	8,496,381.15 豪ドル	733,832 千円	11,335,071.42 豪ドル	979,010 千円
	2014年10月31日に終了した年度			
期末現在1口当たり純資産価格 (豪ドルで表示)	108.02 豪ドル	9,330 円		
純資産価額 (豪ドルで表示)	13,944,931.06 豪ドル	1,204,424 千円		

コクサイーMUGCトラスト
財務書類に対する注記
2016年10月31日に終了した年度

注1 概要

コクサイーMUGCトラスト（以下「ファンド」という。）は、受託会社と管理会社により締結された2011年7月29日付の信託証書（随時補完または修正済）により、ケイマン諸島の信託法に基づき設立されたオープン・エンド型のアンブレラ型免除ユニット・トラストである。ファンドは、2011年8月3日付でミューチュアル・ファンド法に基づき登録された。

本財務書類は以下の2つのサブ・ファンドのみに関するものである。

d b X-ウィントン・パフォーマンス連動オープン
単位型 d b X-ウィントン・パフォーマンス連動ファンド1110（豪ドル建）

・ **d b X-ウィントン・パフォーマンス連動オープン（米ドル建で表示）**

サブ・ファンドは、複数のクラス受益証券を販売している。現在、6種類のクラス受益証券が投資者に販売されている。

円建 円ヘッジクラス 成長型受益証券
円建 円ヘッジクラス 分配型受益証券
米ドル建クラス 成長型受益証券
米ドル建クラス 分配型受益証券
豪ドル建 豪ドルヘッジクラス 成長型受益証券
豪ドル建 豪ドルヘッジクラス 分配型受益証券

サブ・ファンドの投資目的は、受益者に対して、ウィントン・キャピタル・マネジメント・リミテッド（以下「ウィントン社」または「投資助言会社」という。）が投資助言会社を務める d b X-CTA5 ファンドへの想定上の投資に連動するリターンを提供することである。サブ・ファンドは、当該目的を達成するために、その資産の実質的にすべてを、2021年満期のドイチェ・バンク・ルクセンブルグ・エス・エイにより発行されるパフォーマンス・リンク債（以下「本債券」という。）に投資する。本債券は、① d b X-CTA5 ファンドに対する想定上の投資、② 想定上の現金口座、③ 流動性ファシリティ、および④ 参照指数報酬で構成される合成指数（デルタ1指数）に連動している。本債券は、米ドル建である。サブ・ファンドは、ドイツ銀行ロンドン支店から本債券を取得する。

・ **単位型 d b X-ウィントン・パフォーマンス連動ファンド1110（豪ドル建）（豪ドル建で表示）**

単一のクラス受益証券が発行済である。

サブ・ファンドの投資目的は、当該債券満期日において発行価格の104.2%を確保しつつ、受益者に対して、参照指数のパフォーマンスに連動するリターンを提供することにより、サブ・ファンドの資産の中長期的成長を目指すことである。参照指数は、ボラティリティ調整の仕組みを有しつつ、ウィントン・キャピタル・マネジメント・リミテッド（以下「ウィントン社」

または「投資助言会社」という。)が投資助言会社を務めるd b X-ウィントンCTA 5ファンドのパフォーマンスを反映して価格が決定される想定上の口座である。サブ・ファンドは、当該目的を達成するために、その資産の実質的にすべてを、2018年満期のドイチェ・バンク・ルクセンブルグ・エス・エイにより発行されるパフォーマンス・リンク債(以下「本債券」という。)に投資する。本債券は、d b X-CTA 5ファンド・ボラティリティ・コントロール・ポートフォリオの受益証券への想定上の投資および現金の勘定により構成される合成指数(ボラティリティ・コントロール指数)に連動している。本債券は、豪ドル建である。サブ・ファンドは、ドイツ銀行ロンドン支店から本債券を取得する。本債券は、固定利付証券である。

平成28年5月1日付で、管理会社、保管会社および管理事務代行会社は、その名称をミツビシUFJグローバルカストディ・エス・エイからルクセンブルク三菱UFJインベスターサービス銀行S.A.に変更し、また副管理会社は、その名称をエムユージーシー・ルクス・マネジメント・エス・エイからMUGLルクスマネジメントカンパニーS.A.に変更した。

注2 資本

・ d b X-ウィントン・パフォーマンス連動オープン(米ドル建で表示)

受益証券の申込み

各クラスの申込単位は、100口以上1口単位である。

受益証券の当初発行価格は、円建受益証券につき1口当たり10,000円、米ドル建受益証券につき1口当たり100米ドル、豪ドル建受益証券につき1口当たり100豪ドルである。

受益証券の買戻し

受益証券の買戻価格は、関連する買戻請求が受諾された申込締切日に関係する取引日現在の当該クラスの受益証券1口当たり純資産価格である。管理事務代行会社は、該当する場合、買戻しを行う受益者に送金された買戻代金から第三者手数料または源泉徴収税を控除することができる。買戻請求は1口単位で行われなければならない。

分配

管理会社は、その裁量により、2012年2月以降、2月および8月の最初の火曜日(当該日が営業日でない場合には、翌営業日とする。)に、各分配型受益証券について、純投資収益、純実現および未実現キャピタル・ゲインならびに分配可能な元本から分配を宣言することができる。なお、初回の分配は、2012年2月7日に宣言された。

分配は、受益者に対して、分配の宣言時から起算して10営業日以内に行われる。

・ 単位型 d b X-ウィントン・パフォーマンス連動ファンド1110(豪ドル建)(豪ドル建で表示)

受益証券の申込み

申込単位は、300口以上100口単位である。

当初発行価格は、受益証券1口当たり100豪ドルである。

受益証券の買戻し

受益証券の買戻価格は、関連する買戻請求が受諾された申込締切日に関係する取引日現在の受

益証券1口当たり純資産価格である。買戻請求は100口単位で行われなければならない。

分配

単位型 d b X-ウィントン・パフォーマンス連動ファンド1110（豪ドル建）については、分配は行われない。

注3 重要な会計方針の概要

本財務書類は、投資信託に適用ある、ルクセンブルグにおいて一般に認められた会計原則に従って表記されている。2016年10月31日現在、ファンドの財務書類は、以下に記載されたとおりに作成されている。

投資有価証券およびデリバティブの評価

- (i) 額面価格で取得された預金証書およびその他の預金は、その元本金額に、取得日からの経過利息を加えた金額で評価される。
- (ii) ディスカウントまたはプレミアム付の価格で取得された預金証書は、これらに関する通常の取引慣行に基づき評価される。
- (iii) 宣言されまたは既に発生しかつ未受領の前払費用、現金配当および利息の価値は、その全額とみなされる。ただし、管理会社がかかる費用等が全額支払われまたは受領される可能性が低いと判断する場合にはこの限りでない。かかる場合、これらの価値は、その真の価値を反映するため、管理会社が適切と考えるディスカウントを行った上で決定される。
- (iv) 未上場有価証券は、投資顧問会社が適切であると判断する要因（同一または類似の有価証券の直近の取引およびブローカー・ディーラーまたは公認の値付業者から入手した評価情報を含む。）を考慮した上で、投資顧問会社により誠実に決定される公正な市場価格で評価される。
- (v) 利付有価証券に発生した一切の利息（ただし、かかる利息が当該有価証券の元本額に含まれている場合を除く。）。
- (vi) 前記の評価方法にかかわらず、何らの評価方法も定められていない場合、または管理会社が当該評価方法が実行可能または適切ではないと考える場合、管理事務代行会社は、投資顧問会社と協議の上、かかる状況において公平であると管理会社が考える評価方法を誠実に使用する権利を有する。

有価証券の売却にかかる実現純（損）益

有価証券の売却にかかる実現純（損）益は、売却有価証券の平均取得原価に基づいて計算される。

為替換算

本財務書類は、サブ・ファンド毎に、米ドルまたは豪ドルで表示されている。米ドルまたは豪ドル以外の通貨で表示される銀行勘定、投資有価証券およびその他の資産または負債は、期末現在の適用される実勢為替レートで対応する通貨に換算される。

米ドルまたは豪ドル以外の通貨の受取配当金は、配当落ち日の実勢為替レートを使用して会計処理される。

米ドル以外の通貨で表示されるその他の収益および費用は、取引日の適用される実勢為替レートで米ドルまたは豪ドルに換算される。

実現為替損益および未実現為替損益の変動の結果は、運用計算書に計上される。

2016年10月31日現在、適用される為替レートは以下の通りである。

1 米ドル	=	1.314147 豪ドル	1 豪ドル	=	79.964430 円
1 米ドル	=	105.085000 円	1 豪ドル	=	0.760950 米ドル

投資有価証券の取得原価

米ドルまたは豪ドル以外の通貨で表示される投資有価証券の取得原価は、取引日の適用される為替レートで米ドルまたは豪ドルに換算される。

投資収益

受取利息は、発生基準で認識される。

為替予約契約

未決済の為替予約契約から生じる未実現評価損益は、当該日に適用される為替予約価格に基づき、評価日に決定され、純資産計算書に計上される。

為替予約契約から生じる実現損益は、運用計算書に認識される。

トータルリターン・スワップの評価

トータルリターン・スワップに関連するサブ・ファンドのキャッシュフローの流入および流出は、当該キャッシュフローの満期に対応するゼロクーポン・スワップ・レートで評価日の現在価値に転換される。オプションの組み合わせであるプロテクションの買い手が受領した支払も、現在価値に転換され、複数のパラメータ（とりわけ価格、ボラティリティ、および対象となる資産の債務不履行の可能性）により決定される。トータルリターン・スワップ契約の価値は、上記の2つの現在価値への転換の差異である。

設立費用

設立費用は、5年間にわたり償却される。

注4 未払費用

	d b Xーウィントン・ パフォーマンス連動オープン	単位型 d b Xーウィントン・ パフォーマンス連動ファンド1110 (豪ドル建)
	米ドル	豪ドル
管理事務代行報酬および保管 報酬 (注9)	8,179.08	379.09
代行協会員報酬 (注11)	10,125.03	634.37
販売報酬 (注10)	40,500.71	2,213.27
投資顧問報酬 (注7)	115,142.46	3,520.21
管理報酬 (注6)	2,044.95	126.91
その他の報酬	2,950.81	3,861.27
専門家報酬	43,977.99	38,659.40
副管理報酬 (注12)	2,044.36	126.91
受託報酬 (注8)	1,010.24	2,260.49
合計	225,975.63	51,781.92

注5 税金

ケイマン諸島には、現行法規制の下、所得税、法人税、キャピタル・ゲイン税その他の税がない。受託会社は、ファンドのために、ケイマン諸島の信託法に基づき、ケイマン諸島内閣長官に対し、2011年7月29日（ファンドの設定日）から50年の間に制定される、所得もしくはキャピタル資産もしくはキャピタル・ゲインもしくは利益に課せられる税金もしくは課徴金、または資産税もしくは相続税の性質を有する何らかの税金を課す法律が、ファンドに発生した利益もしくはファンドに保有される資産に対し、または当該利益または資産に関して受託会社もしくは受益者に対し、適用されないものとする旨の約定を申請しており、これを取得している。

注6 管理報酬

d b Xーウィントン・パフォーマンス連動オープンに関して、管理会社は、サブ・ファンドの純資産価額の年率0.02%の報酬を受領する権利を有する。かかる報酬は、毎日発生し、四半期毎に後払いされる。

単位型 d b Xーウィントン・パフォーマンス連動ファンド1110（豪ドル建）に関して、管理会社は、サブ・ファンドの発行済受益証券の発行価格の総額の年率0.02%の報酬を受領する権利を有する。かかる報酬は、毎日発生し、四半期毎に後払いされる。

注7 投資顧問報酬

d b Xーウィントン・パフォーマンス連動オープンに関して、投資顧問会社は、ファンドの純資産価額の年率0.28%の報酬を受領する権利を有する。かかる報酬は、毎日発生し、四半期毎に後払いされる。

単位型 d b Xーウィントン・パフォーマンス連動ファンド1110（豪ドル建）に関して、投資顧問会社は、サブ・ファンドの発行済受益証券の発行価格の総額の年率0.14%の報酬を受領する権利を有する。かかる報酬は、毎日発生し、四半期毎に後払いされる。

注8 受託報酬

d b Xーウィントン・パフォーマンス連動オープンに関して、受託会社は、ファンドの純資産価額の年率0.01%の報酬（ただし、最低年間受託報酬を10,000米ドルとする。）を受領する権利を有する。かかる報酬は、毎日発生し、毎月後払いされる。

単位型 d b Xーウィントン・パフォーマンス連動ファンド1110（豪ドル建）に関して、受託会社は、サブ・ファンドの発行済受益証券の発行価格の総額の年率0.01%の報酬（ただし、最低年間受託報酬を5,000米ドルとする。）を受領する権利を有する。かかる報酬は、毎日発生し、毎月後払いされる。

注9 管理事務代行報酬および保管報酬

d b Xーウィントン・パフォーマンス連動オープンに関して、管理事務代行会社は、サブ・ファンドの純資産価額の年率0.08%の報酬を受領する権利を有する。かかる報酬は、毎日発生し、四半期毎に後払いされる。

単位型 d b Xーウィントン・パフォーマンス連動ファンド1110（豪ドル建）に関して、管理事務代行会社は、サブ・ファンドの発行済受益証券の発行価格の総額の年率0.06%の報酬を受領する権利を有する。かかる報酬は、毎日発生し、四半期毎に後払いされる。

保管会社は、英文目論見書に記載されるように、合意済の取引手数料の支払を受領する権利を有し、サブ・ファンドの資産から適切な裏付けのある立替費用の払戻しを受ける。

注10 販売報酬

d b Xーウィントン・パフォーマンス連動オープンに関して、販売会社は、サブ・ファンドの純資産価額の年率0.40%の報酬を受領する権利を有する。かかる報酬は、毎日発生し、四半期毎に後払いされる。

単位型 d b Xーウィントン・パフォーマンス連動ファンド1110（豪ドル建）に関して、販売会社は、サブ・ファンドの発行済受益証券の発行価格の総額の年率0.35%の報酬を受領する権利を有する。かかる報酬は、毎日発生し、四半期毎に後払いされる。

注11 代行協会員報酬

d b Xーウィントン・パフォーマンス連動オープンに関して、代行協会員は、サブ・ファンドの純資産価額の年率0.10%の報酬を受領する権利を有する。かかる報酬は、毎日発生し、四半期毎に後払いされる。

単位型 d b Xーウィントン・パフォーマンス連動ファンド1110（豪ドル建）に関して、代行協会員は、サブ・ファンドの発行済受益証券の発行価格の総額の年率0.10%の報酬を受領する権利を有する。かかる報酬は、毎日発生し、四半期毎に後払いされる。

注12 副管理報酬

d b Xーウィントン・パフォーマンス連動オープンに関して、副管理会社は、サブ・ファンドの純資産価額の年率0.02%の報酬を受領する権利を有する。かかる報酬は、毎週発生し、四半期毎に後払いされる。

単位型 d b Xーウィントン・パフォーマンス連動ファンド1110（豪ドル建）に関して、副管理会社は、サブ・ファンドの発行済受益証券の発行価格の総額の年率0.02%の報酬を受領する権利を有する。かかる報酬は、毎週発生し、四半期毎に後払いされる。

注13 為替予約契約に係る未実現評価損益

d b Xーウィントン・パフォーマンス連動オープン

取引日 (年月日)	決済日 (年月日)	通貨	売却	通貨	購入	時価 (米ドル)	未実現評価損 (米ドル)	取引相手方
2016/10/28	2016/11/04	米ドル	134,790.08	日本円	14,200,000	135,146.53	356.45	ルクセンブルク三菱UFJ インベスターサービス銀行S.A.
合計							356.45	

2016年10月31日現在、上記契約にかかる未実現評価利益は356.45米ドルであり、純資産計算書に開示されている。

注14 トータルリターン・スワップに係る未実現評価損益

d b Xーウィントン・パフォーマンス連動オープン

額面価額	通貨	満期日 (年月日)	スワップ、時価評価額 (米ドル)
豪ドル	4,287,400.00 米ドル：豪ドル	2021/10/05	5,910.00
豪ドル	46,392,000.00 米ドル：豪ドル	2021/10/05	63,963.02
			69,873.02

2016年10月31日現在、上記契約にかかる未実現評価利益は69,873.02米ドルの時価に相当する。スワップ契約相手方は、ドイツ銀行ロンドン支店である。

額面価額	通貨	満期日 (年月日)	スワップ、時価評価額 (米ドル)	
日本円	873,100,000	米ドル：日本円	2021/10/05	(4,469.40)
日本円	2,112,000,000	米ドル：日本円	2021/10/05	(11,332.99)
				(15,802.39)

2016年10月31日現在、上記契約にかかる未実現評価損失は15,802.39米ドルの時価に相当する。
スワップ契約相手方は、ドイツ銀行ロンドン支店である。

注15 ポートフォリオの変動

2016年10月31日に終了した年度におけるポートフォリオの変動の詳細な明細表は、ファンドの管理会社の登記上の事務所に請求することにより、無料で入手できる。

注16 実現損益および未実現評価損益の変動

d b X-ウィントン・パフォーマンス連動オープン

2016年10月31日に終了した年度における実現評価損益は、以下の通り分析することができる。

	米ドル
投資有価証券売却にかかる実現利益	1,982,122.30
投資有価証券売却にかかる実現損失	—
投資有価証券売却に係る純実現損益	1,982,122.30
為替予約契約にかかる実現利益	84,322.34
為替予約契約にかかる実現損失	(54,890.98)
為替予約契約にかかる純実現損益	29,431.36

2016年10月31日に終了した年度における未実現評価損益の変動は、以下の通り分析することができる。

	2015年10月31日 (米ドル)	2016年10月31日 (米ドル)	未実現評価損益の変動 2016年10月31日 (米ドル)
投資有価証券にかかる未実現評価損益の変動			
未実現評価利益	11,094,268.01	10,487,040.90	(607,227.11)
未実現評価損失	—	—	—
未実現評価損益 (純額)	11,094,268.01	10,487,040.90	(607,227.11)
為替予約契約に関する未実現評価損益の変動			
未実現評価利益	—	356.45	356.45
未実現評価損失	—	—	—
未実現評価損益 (純額)	—	356.45	356.45

	2015年10月31日 (米ドル)	2016年10月31日 (米ドル)	未実現評価損益の変動 2016年10月31日 (米ドル)
スワップ契約に関する未実現評価損益の変動			
未実現評価利益	—	69,873.02	69,873.02
未実現評価損失	(96,806.96)	(15,802.39)	81,004.57
未実現評価損益 (純額)	(96,806.96)	54,070.63	150,877.59

単位型 d b X-ウィントン・パフォーマンス連動ファンド1110 (豪ドル建)

2016年10月31日に終了した年度における実現評価損益は、以下の通り分析することができる。

	豪ドル
投資有価証券売却にかかる実現利益	439,480.00
投資有価証券売却にかかる実現損失	—
投資有価証券売却に係る純実現利益	439,480.00
為替予約契約にかかる実現利益	137.73
為替予約契約にかかる実現損失	(73.49)
為替予約契約にかかる純実現損失	64.24

2016年10月31日に終了した年度における未実現評価損益の変動は、以下の通り分析することができる。

	2015年10月31日 (豪ドル)	2016年10月31日 (豪ドル)	未実現評価損益の変動 2016年10月31日 (豪ドル)
投資有価証券にかかる未実現評価損益の変動			
未実現評価利益	1,576,985.00	1,309,672.00	(267,313.00)
未実現評価損失	—	—	—
未実現評価損益 (純額)	1,576,985.00	1,309,672.00	(267,313.00)
為替予約契約に関する未実現評価損益の変動			
未実現評価利益	51.83	—	(51.83)
未実現評価損失	—	—	—
未実現評価損益 (純額)	51.83	—	(51.83)

注17 分配

d b X-ウィントン・パフォーマンス連動オープンについて

分配落ち日	支払日	分配率	総額	通貨
2016/02/02	2016/02/10	1	44,455.00	豪ドル
		合計	44,455.00	

分配金総額は44,455.00豪ドル (31,498.59米ドル) であった。

(3) 投資有価証券明細表等

コクサイーMUGCトラストー
単位型 db Xーウィントン・パフォーマンス連動ファンド1110 (豪ドル建)
投資有価証券およびその他の純資産明細表
2016年10月31日現在
(豪ドルで表示)

銘柄	通貨	額面	取得原価	時価	純資産比率 (%)
公認の証券取引所に上場されているまたは他の規制ある市場で取引されている譲渡性のある有価証券					
債券					
ルクセンブルグ					
DEUTSCHE BANK LUXEMBOURG SA FRN 10/09/2018	豪ドル	7,280,000	7,240,688.00	8,550,360.00	100.64%
			7,240,688.00	8,550,360.00	100.64%
投資有価証券合計			7,240,688.00	8,550,360.00	100.64%
その他の純負債				(53,978.85)	-0.64%
純資産合計				8,496,381.15	100.00%

投資有価証券の地域別分類
2016年10月31日現在

	純資産比率 (%)
ルクセンブルグ	100.64%
	100.64%

添付の注記は本財務書類と不可分のものである。

V. お知らせ

2016年5月1日付で、管理会社は、その名称を三菱UFJグローバルカストディ・エス・エイからルクセンブルク三菱UFJインベスターサービス銀行S.A.に変更し、また、副管理会社は、その名称をエムユージーシー・ルックス・マネジメント・エス・エイからMUFGLUKスマネジメントカンパニーS.A.に変更しました。